

平成 30 年度森林利用学会総会およびシンポジウムのご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

下記の通り、森林利用学会総会およびシンポジウムを開催いたします。後日お送りする参加申込み葉書に出欠をご記入の上、3月15日(木)までに学会事務局宛にお送り下さい。なお、懇親会は3月28日(水)18:30~高知大学朝倉キャンパス生協で開催する予定です。

月 日：平成 30 年 3 月 29 日 (木)
場 所：高知大学 朝倉キャンパス 共通教育 1 号館 153 講義室 (予定)
時 間：理事会 9:30~10:30
総会 10:30~12:00
シンポジウム 13:15~16:00

シンポジウムテーマ

森林資源を上手に活用していくために ―川上~川下の情報共有を通じて―

趣旨

わが国の人工林蓄積はこの 50 年間で 6 倍の 30 億 m³にまで増大した。充実してきた森林資源を、木材として持続的に利用していくためには、川上から川下まで一貫した生産管理体制を構築しなければならない。具体的には、木材供給・流通体制の構築、川上・川下間における木材供給・需要情報の共有、木材の生産と消費を結びつける人材の育成等が重要な課題となる。そこで本シンポジウムでは、川上から川中、川下までの情報共有をキーワードに、森林資源を上手に活用していくための方策について議論する。

話題提供者

- ・松本寛喜 (四国森林管理局 森林整備部長)
- ・本藤幹雄 (久万高原町 林政アドバイザー)
- ・鈴木秀明 (住友林業株式会社 資源環境本部山林部大阪事業所)
- ・能口秀一 (有限会社ウッズ 木材コーディネータ)

コーディネータ

長谷川尚史 (京都大学)

コメントータ

仁多見俊夫 (東京大学)

司会・進行

鈴木保志 (高知大学)

<森林利用学会誌編集委員会からのお知らせ>

第 34 巻第 1 号特集への投稿募集予告

森林利用学会誌では、平成 30 年度森林利用学会シンポジウムの内容に関連させて、第 34 巻 1 号において特集号「森林資源活用のための情報戦略 (仮)」の発行を計画しています。詳細な原稿募集の案内は 2018 年 4 月に発行する次号第 33 巻 2 号に掲載しますが、原稿締切りは論文 (研究、技術) については 2018 年 8 月中旬を、速報等その他の区分については 10 月頃を予定しています。会員の皆様からの多数のご投稿をお待ちしていますので、是非早めのご準備をお願いいたします。